

P	D	C	A
年1回、放射線治療科データベースのレビューを行う。	2020年10月(2020年9月18日で機器更新のため治療業務休止)にデータベースチェック施行。	期間中、治療総件数243件、予定線量の95%以上完遂率は94.7%、照射中止は13件(5.3%)治療期間7日以上の変延したのは3件(1.2%)。	症状緩和に関わる治療もあるので、必ずしも完遂率100%を目指す必要はないし、治療中の状況変化への対応も必要なので、現状維持が妥当。カンファレンスなどでの情報共有を強化し、症状緩和目的の患者の治療期間短縮を検討する。
<ul style="list-style-type: none"> ・化学療法レジメンのホームページへの掲載 ・外来化学療法にかかわる職員及び地域の保険薬局に勤務する薬剤師等を対象とした研修会の実施(年1回以上) ・他の保健医療機関及び保険薬局からのレジメンに関する照会や患者の状況に関する相談及び情報提供に応じる体制の整備 	計画に挙げた、HP対応、研修会、体制整備、については全て実行。	計画については、全て完了できた。	2020年度を通じて環境整備はできたので、院内への展開と制度管理の充実を目指す。
<ol style="list-style-type: none"> 1. がん相談員の年間研修計画に、基礎研修を組み込み、計画的な参加につなげる。 2. 認定がん専門相談員が、継続的な研修が確保できるよう組織のサポート体制を構築する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1.基礎研修がコロナで中止となったため、両立支援コーディネーター基礎研修に参加した。(3名終了) 2. 継続研修認定更新コースを受講終了した。 	WEB研修を活用し、教育の場を確保することができた。	今年度受講できなかった相談員が、来年度に両立支援コーディネーター研修を受講できるように調整し、支援力の向上を図る。
現在実施している院内がん登録実務者研修会のアンケートで課題を収集する。そのアンケートによってプログラムを工夫する。	令和2年度第1回院内がん登録実務者研修会にてアンケートを配布。	アンケート回収率は7割だったが、コメントを含め、概ね好評であった。9割以上有益だったと回答があり、理解できたまでの回答も9割以上あったが、理解できなかったとの回答もあった。	今回の研修会は概ね好評だった。例年どおりの参加者も得られたが、がん登録の経験がない人の受講も多かった。Web講義ならではの思うが、来年度の研修内容については検討する。